

令和7年11月20日

報道機関各位

第9回・第10回まちなか未来学校の開催について

産業経済部商工労働課

空洞化が加速するまちなかの経済活力向上と地域活性化に取り組む人材の育成を目的として、毎月まちなか未来学校を開講しています。今回は令和7年度第9回、第10回の案内です。

【第9回】

- (1)開催日 令和7年12月9日（火）
- (2)開催時間 午後6時から午後8時00分まで（開場 午後5時30分）
- (3)会場 伊勢崎市伊勢崎駅前インフォメーションセンター
- (4)申込方法 下記申込フォームから申込または商工労働課宛に電話やFAX
申込フォーム <https://logoform.jp/form/Gpfu/1052762>
電話 0270-27-2755 FAX 0270-23-7382
受付開始 令和7年11月26日（水）午前9時から
- (5)参加料 無料
- (6)テーマ 「政治家を志すすべての若者たちへ」
「誰かが変えてくれる」ではなく、「自分が変える」。そんな想いを持つ方へ。前太田市長が自身の歩んだ道のりを通して、政治の現場のリアル、志を貫くための覚悟と行動力を語ります。
- (7)講師 清水 聖義（前太田市長）
- (8)定員 先着30名

【第10回】

- (1)開催日 令和7年12月10日（水）
- (2)開催時間 午後6時30分から午後8時00分まで（開場 午後6時）
- (3)会場 伊勢崎市伊勢崎駅前インフォメーションセンター
- (4)申込方法 下記申込フォームから申込または商工労働課宛に電話やFAX
申込フォーム <https://logoform.jp/form/Gpfu/1052762>
電話 0270-27-2755 FAX 0270-23-7382

受付開始 令和7年11月26日（木）午前9時から

(5)参加料 無料

(6)テーマ 「シャレットワークショップ～伊勢崎のまちづくりデザインを
考える～」

令和6年8月に当市でシャレットワークショップが開催された。その後に起きた具体的な変化や変わろうとする兆しなどについて、伊勢崎市メンバーから共有してもらい、対話する会を開催します。

(7)講師 小林 正美（明治大学名誉教授）

北原 啓司（弘前大学特任教授）

(8)定員 先着30名

問い合わせ先 商工労働課 田村 Tel0270-27-2755

（内線3220）

空洞化が加速するまちなかの経済活力向上と地域活性化に取り組む人材の育成を目的として未来学校を毎月開講しています。

いせさき まちなか 未来学校

主催 伊勢崎市まちなか活性化支援会議

要事前申込

定員先着30名

しみずまさよし

前 太田市長、清水聖義 さんによる

政治家を志す 若者たちへ すべての



必聴!

市議、県議を目指す方、

「誰かが変えてくれる」ではなく、「自分が変える」。そんな想いを持つ方へ。

前太田市長が自身の歩んだ道のりを通して、政治の現場のリアル、志を貫くための覚悟と行動力を語ります。

令和7年

第9回

12月9日 火

時間 18:00~20:00 (開場 17:30)

会場 伊勢崎駅前インフォメーションセンター

シャレットワークショップ

ー伊勢崎のまちづくりデザインを考えるー

REVIEW

「もう一度見直す時間」

「次への視点を取り戻す機会」

「再び視点を合わせる場」

2024年8月に、建築を学ぶ学生約20名と彼らを指導する建築学会所属の専門家12名が全国から結集し、学生と地域との連携による、シャレットワークショップが開催され、伊勢崎のまちなかを活性化させる様々なアイデアが考案されました。あれから約1年4ヶ月が経過する中で、シャレットを牽引する小林正美先生と北原啓司先生をお招きし、伊勢崎に起きた具体的な変化や変わろうとする兆しなどについて、伊勢崎メンバーから共有してもらい、対話する会を開催します。(昨年実施時の様子▷)



令和7年

第10回

12月10日 水

時間 18:30~20:00 (開場 18:00)

会場 伊勢崎駅前インフォメーションセンター



小林 正美

Kobayashi
Masami

東京生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。東京大学院修士課程修了の後、丹下健三・都市建築設計研究所に勤務。米ハーバード大学への留学を経て、東京大学大学院博士課程を修め、明治大学理工学部で教鞭を取り、2024年に退官。専門は建築設計および都市デザイン論。シャレットワークショップの手法により全国各地でまちづくり活動に参加。下北沢地区、岡山県高梁市、兵庫県姫路市などの都市デザインを手掛け、日本建築学会賞やグッドデザイン・地域づくりデザイン賞を受賞。自身の設計事務所・アルキメディア設計研究所所長の他、東京都台東区景観審議会会長なども務める。

三重県伊勢市生まれ。東北大学大学院工学研究科博士課程修了。東北大学建築学科助手を経て、2003年より弘前大学教育学部の教授を務める。専門は「まち育て」。学会や各自治体の都市計画や住宅政策、景観に関わる委員を務める傍ら、東日本大震災以来、国土交通省、大船渡市、宮古市、石巻市等の震災復興に関わる様々な委員を務める。日本都市計画学会副会長、東北支部長。2001年よりコミュニティFMアップルウェーブで「まち育てないと」のDJを担当。2016年、住総研第5回清水康雄賞を受賞。2022年に弘前大学を退官後も全国のまちづくりに携わる。一級建築士。

北原 啓司

Kitahara
Keiji



申込方法：第9回・第10回ともに、11月26日(水) 9:00より 参加申込みの受付を開始します。【参加無料】



申込方法：左記QRコードの応募フォームより入力、又は電話やFAXでもお申し込みが可能です。
問合せ：産業経済部 商工労働課 まちなか活性化係
電話 0270-27-2755 / FAX 0270-23-7382

参加対象

次のいずれかに該当する人は、どなたでも参加いただけます。
伊勢崎のまちなかで 学びながら挑戦したい人、仲間とつながりたい人、
つながりたい人、事業を営んでいる人、これから始めてみたい人、など

※満席の場合、事前申込みを行っていない方の当日参加はお断りさせていただきます。